

Japan Society of Sports Industry

日本スポーツ産業学会

学会ニュース

No. 103

日本スポーツ産業学会第26回大会開催される

第26回大会は、2017年7月15日(土)と16日(日)に立教大学(池袋キャンパス)にて行われました。暑い中、多数の参加者(総入場者数:165名、内有料入場者数:143名[一般:104名、学生:39名])を得て盛会のうちに幕を閉じました。これもひとえに、大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、プログラムの「企画コンペ」には17件の応募があり、厳正な審査の結果選ばれた7件の著者が当日プレゼンし、スポーツ庁長官、学会会長、学会理事長ほかの審査を経て、次のような結果となりました。

○スポーツ庁長官賞

- ・「VRを用いたスポーツ・ヘルスケア市場の活性化－EMSとの融合－」

久保雄一郎(神戸大学)、山口泰雄

○日本スポーツ産業学会会長賞

- ・「スポーツ観戦マイスター制度」

笠野英弘(山梨学院大学)

- ・「スポーツ産業の活性化－新規ビジネスモデルの提案－」

東 恭平(大日本印刷株式会社)



左から尾山基会長、久保雄一郎氏、鈴木大地長官、東恭平氏、笠野英弘氏、平田竹男会長

◇ も く じ ◇

・平成28年度の学会賞授与式について.....	2
・第26回学会大会プログラム.....	2
・第56回理事会報告.....	3
・第27回総会報告.....	4
・企画委員会セミナー開催報告.....	17
・事務局より.....	17
・『スポーツ産業学研究』原稿募集.....	18

平成28年度の学会賞授与式について

2017年7月15日(土)に開催された懇親会にて、平成28年度の学会賞受賞者に対する授賞式が行われ、受賞者は尾山 基会長より、賞状と副賞を受け取りました。受賞論文(原著論文)は下記の通りです。

○学会賞論文……………副賞10万円

・「わが国における国内スポーツ総生産(GDSP)の推計と経年比較」

庄子博人(同志社大学), 加賀瑛司(前 日本政策投資銀行), 桂田隆行(日本政策投資銀行), 澤井和彦(明治大学), 間野義之(早稲田大学)

(『スポーツ産業学研究』第26巻第2号掲載)

○奨励賞論文……………副賞各5万円

・「アスリートがドーピングを行わなかったことに影響した要因：オリンピックメダリストを対象とした質的検証」

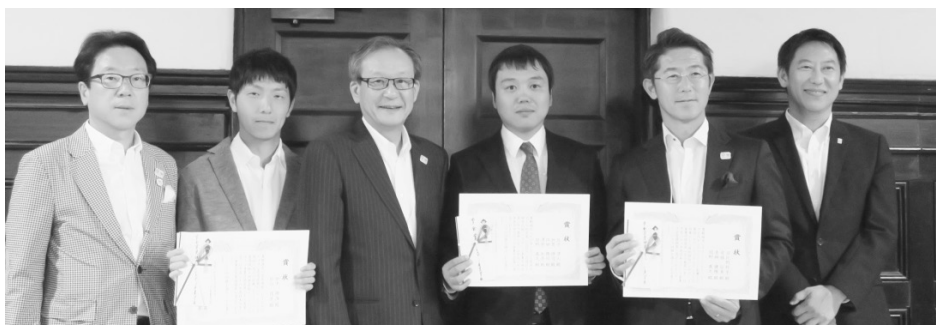
日比野幹生(文部科学省), 舟橋弘晃(早稲田大学), 青柳健隆, 間野義之

(『スポーツ産業学研究』第26巻第1号掲載)

・「日常場面におけるネガティブな感情経験がバーンアウト傾向に及ぼす影響：ポジティブな感情経験を調整変数として」

田中輝海(九州大学), 杉山佳生

(『スポーツ産業学研究』第26巻第1号掲載)



左から平田竹男会長、田中輝海氏、尾山基会長、庄子博人氏、間野義之氏、鈴木大地長官

第26回大会プログラム

1. 会 期：2017年7月15日(土)～16日(日)
2. 会 場：立教大学(池袋キャンパス)
3. テーマ：2020年に向けた地殻変動と価値の多様化

4. 日 程

【7月15日(土)】

- 11:30 理事会
- 12:30 受付開始
- 13:20 一般研究発表(3会場:11題)
- 13:20 企画コンペ ポスター発表(17題)
- 14:30 オープニングセレモニー
- 14:40 企画コンペ
- 16:40 総会
- 18:00 懇親会

【7月16日(日)】

- 8:30 受付開始
- 9:00 一般研究発表(3会場:28題)
- 12:10 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟
日本強化・育成指定選手練習会見学及び
レクチャー(PRACプール)
- 13:20 シンポジウム1「スポーツ産業とスポーツ
コミッション」
シンポジスト：
柴山昌彦(株式会社丸富社長)
松田裕雄(株式会社WaiSportsジャ
パン代表取締役)
梶谷俊介(おかやまスポーツプロ
モーション研究会(SPOC研究会))

代表、岡山トヨタ代表取締役社長)

モデレーター：松橋崇史（拓殖大学）

15：00 シンポジウム2「大学スポーツ産業の振興」

シンポジスト：

小林 至（江戸川大学 教授）

井坂忠夫（立命館大学 教授）

モデレーター：高橋義雄（筑波大学）

5. 企画コンペ ポスター発表

・「3世代が集うスタジアム～日本版「フットボール・イン・ザ・コミュニティ」～」

永田 靖（広島経済大学）

・「税制特区によるスポーツ団体支援の必要性～スポーツ投資による恩恵の享受」

永田 靖（広島経済大学）

・「スポーツを支援するレガシーを残す～インターネットでスポンサーマッチング～」

衛藤涼太（株式会社JMS）

・「まだファンの少ないマイナーなスポーツにもスポンサーを～費用対効果のわかるクリック課金型広告～」

衛藤涼太（株式会社JMS）

・「新しいスポーツを用いた人的交流事業の展開」

大沼博靖（静岡産業大学）

・「スタジアム外空間の観光対象化～サマヨイチによるSaaSの創出～」

鈴木祥平（首都大学東京大学院）

・「スポーツ観戦マイスター制度」

笠野英弘（山梨学院大学）

・「スポーツニューロマーケティングを活用したスポンサーシップの活性化～工学を応用した新しいモデルの提案～」

秋山大輔（日本経済大学），萩原悟一（鹿屋体育大学）

・「プロ使用の大学施設～アメリカプロチームが大学施設をキャンプ地として使用する事例と、そこから学ぶプロ・大学・地域が一体となった運営～」 矢沢大悟（フロリダ州立大学）

・「スポーツ産業の活性化～②新規ビジネスモデルの提案～」

東 恭平（大日本印刷株式会社）

・「スポーツがますます楽しくなる2～ゼロから始まる上体の回旋（慣性）バイオメカニクス～」

水原元一（ANAグループ）

・「VRを用いたスポーツ・ヘルスケア市場の活性化～EMSとの融合～」

久保雄一郎（神戸大学大学院），山口泰雄

・「スポーツで日本を変える」

植田真司（大阪成蹊大学）

・「ニッポン全国，ご当地スポーツのブランド化プロジェクト」

杉浦愛実

・「スポーツ施設から始まる地域スポーツ産業の発展～PFI式大型スポーツ施設の提案～」

渡邊創史（帝京大学），川上祐司

・「あるべき大学スポーツ組織の設立提案～収益分配制度によるLife balanceの実現」

川橋峻希（帝京大学），川上祐司

・「ラグビーワールドカップ2019 日本大会における女性プロモーションによるスポンサーアクティブ化の提案」

佐藤麻衣子（慶應義塾大学）

第56回理事会報告

日 時：平成29年7月15日(土)

11時30分～12時30分

場 所：立教大学池袋キャンパス12号館

地下1階 第1・2会議室

出席者（敬称略）：

会 長 尾山 基，平田竹男

理事長 北村 薫

理 事 池田 弘，佐野毅彦，中村 潔（代理：伊地知直亮），中村好男，原田宗彦，藤原庸介，松尾哲矢，三木谷浩史（代理：小木曾 稔），水野明人（代理：北野喜久）

監 事 栗山貴行，得田進介

オブザーバー

運営委員 青山芳之，東 俊介，磯貝浩久，井上俊也，上田滋夢，元 晶煜，工藤康宏，児玉ゆう子，佐藤 潤，澤井和彦，新戸明子，長倉富貴，新井野洋一，服部 宏，藤田康範，藤本淳也，矢島ますみ

スポーツ庁 由良英雄（参事官）
経済産業省 中村良子（商務情報政策局サービス
産業室室長補佐）
賛助会員 染谷 浩（株式会社エム・シー・コ
ミュニケーションズ代表取締役社
長）
白木俊郎（株式会社東京ドームス
ポーツ社長室事業推進担当部長）
田中弘一（株式会社コングレ営業企
画部執行役員）

北村理事長による開会宣言後、尾山会長、平田
会長より挨拶がなされた。続いて、由良英雄氏、
中村良子氏、染谷 浩氏、白木俊郎氏、田中弘一
氏より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者10名（含代理出席）、委
任状提出者7名）が確認され、議事録署名人とし
て小木曾理事、藤原理事が指名された。

議題1）第55回理事会議事録確認

第55回理事会議事録が確認された。

議題2）平成28年度事業報告について

北村理事長の指名により、中村理事（運営委員
長）より資料－1に基づき平成28年度事業報告が
提案され、原案通りこれを総会へ上程することが
承認された。

議題3）平成28年度収支決算報告書について

北村理事長の指名により、資料－2に基づき佐
野理事（総務委員長）より平成28年度一般会計収
支決算について、中村理事より平成28年度大会特
別会計収支決算について提案がなされた。続いて
得田監事より監査報告がなされ、原案通りこれを
総会へ上程することが承認された。

議題4）平成29年度事業計画について

北村理事長の指名により、中村理事より資料－
3に基づき平成29年度事業計画（案）が提案さ
れ、原案通りこれを総会へ上程することが承認さ
れた。

議題5）平成29年度収支予算書について

北村理事長の指名により、資料－4に基づき佐
野理事より平成29年度収支予算（案）について提

案がなされ、原案通りこれを総会へ上程するこ
とが承認された。

議題6）会則の改定について

北村理事長の指名により、佐野理事より資料－
5に基づき会則改定が提案され、改訂案の第5条
第2号を一部修正のうえ、これを総会へ上程す
ることが承認された。

議題7）学会ロゴについて

北村理事長の指名により、中村理事より資料－
6に基づき学会ロゴについて提案がなされ、原
案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題8）「スポーツビジネスジャパン2017」開催 について

北村理事長の指名により、中村理事より資料－
7に基づき「スポーツビジネスジャパン2017」開
催について提案がなされ、原案通りこれを総会へ
上程することが承認された。

議題9）第27回学会大会（平成30年度）の開催 について

北村理事長の指名により、中村理事より第27回
学会大会は明治大学主管により駿河台キャンパ
スで開催する旨提案がなされ、これが了承された。

北村理事長の閉会宣言があり、理事会を終了し
た。

以上

第27回総会報告

日本スポーツ産業学会第27回総会は、平成29年
7月15日(土)16時40分より、立教大学池袋キャン
パス14号館D201において開催された。

1. 総会の出席者

第27回総会は、正会員67名（開会時）の出席、
31名の委任状により成立した。

2. 議事の運営

総会は、工藤康宏運営委員の開会宣言および司

会で開会され、尾山基会長ならびに平田竹男会長の挨拶がなされた。正会員から松井陽子会員が議長に推挙された。議案及び審議概略は以下の通りである。

3. 議題

1) 平成28年度事業報告について

第1議題の平成28年度事業報告について、中村好男理事より資料-1に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

2) 平成28年度収支決算書報告について

第2議題の平成28年度収支決算書報告について、佐野毅彦理事より資料-2に基づく一般会計収支決算報告、中村理事より大会特別会計収支決算報告がなされ、続いて、得田進介監事より資料に基づく監査報告がなされた。会員より、収支決算報告では必要に応じた特記事項記載の必要性が指摘され、中村理事より補足説明のうえ、次回以降適切に対応する旨回答がなされた。議決の結果、原案通り決算が承認された。

3) 平成29年度事業計画について

第3議題の平成29年度事業計画案について、中村理事より資料-3に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

4) 平成29年度収支予算について

第4議題の平成29年度収支予算案について、佐野理事より資料-4に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

5) 会則の改定について

第5議題の会則の改定について、佐野理事より資料-5を一部訂正のうえ提案がなされ、原案通りこれが承認された。

6) 学会ロゴについて

第6議題の学会ロゴについて、中村理事より資料-6に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

7) 「スポーツビジネスジャパン2017」開催について

第7議題の「スポーツビジネスジャパン2017」開催について、中村理事より資料-7に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

8) 第27回学会大会（平成30年度）の開催について

第8議題の第27回学会大会について、中村理事より明治大学主管での開催が提案され、原案通りこれが承認された。

9) 学会賞表彰式について

中村理事より学会賞受賞1編及び学会奨励賞2編が第55回理事会で承認され、学会大会第1日修了後の懇親会にて授与式が行われる旨報告がなされた。なお、受賞対象論文は以下の通りであった。

○学会賞論文…副賞10万円

「わが国における国内スポーツ総生産（GDSP）の推計と経年比較」

庄子博人（同志社大学）、加賀瑛司（前 日本政策投資銀行）、桂田隆行（日本政策投資銀行）、澤井和彦（明治大学）、間野義之（早稲田大学）共著（第26巻第2号掲載）

○奨励賞論文…副賞各5万円

「アスリートがドーピングを行わなかったことに影響した要因：オリンピックメダリストを対象とした質的検証」

日比野幹生（文部科学省）、舟橋弘晃（早稲田大学）、青柳健隆、間野義之（早稲田大学）共著（第26巻第1号掲載）

「日常場面におけるネガティブな感情経験がバーンアウト傾向に及ぼす影響：ポジティブな感情経験を調整変数として」

田中輝海（九州大学）、杉山佳生 共著（第26巻第1号掲載）

松井陽子議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

(資料－１)

平成28年度事業報告

平成28年度の実施事業は以下の通りである。

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1)会議の開催

- ・第26回総会を開催した（平成28年7月16日、於・東京ガーデンパレス）。
- ・第54回理事会（平成28年7月16日、於・東京ガーデンパレス）と第55回理事会（平成29年2月11日、於・大阪成蹊大学）を開催した。
- ・運営委員会を2回開催した（平成28年6月24日、平成29年1月27日）。

(2)事務局体制の整備・充実

- ・ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）を活用した情報発信を行った。

(3)会員の維持・拡充

- ・会員数（平成29年3月31日現在）は以下の通りであった。

- －正会員456人（前年度比37人増）
- －学生会員67人（前年度比8人減）
- －賛助会員20団体

株式会社アシックス

アディダス・ジャパン株式会社

株式会社井上ビジネスコンサルティング

オリックス株式会社

株式会社サニーサイドアップ

株式会社スペースメディアジャパン（平成28年6月入会）

株式会社GKダイナミックス

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

株式会社テクノバ

株式会社デサント

株式会社電通

公益財団法人ときわ会

阪神電気鉄道株式会社

株式会社平野デザイン設計

ホクエツ印刷株式会社

ミズノ株式会社

株式会社横浜国際ゴルフ倶楽部

読売新聞東京本社

楽天株式会社

株式会社WOWOW

2. 出版事業

- ・学会誌『スポーツ産業学研究』第26巻第2号（フォーラム1編，原著論文9編，研究ノート1編，コラム1編）を平成28年9月30日に，第27巻第1号（原著論文2編，研究ノート4編，政策提言コンペ「スポーツ庁長官にアイデアを披露しよう！」15編）を平成29年1月1日に発行した。
- ・学会誌『スポーツ産業学研究』第26巻第1号と第26巻第2号および第27巻第1号の掲載論文を科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）にて公開した。
- ・『学会ニュース』No.98（8月10日），No.99（9月30日）を学会誌第26巻第2号と合本して発行し，ウェブサイトに掲載した。『学会ニュース』No.100（1月1日）を学会誌第27巻第1号と合本して発行し，ウェブサイトに掲載した。

3. 学会大会の開催

- ・第25回学会大会（平成28年7月16日～17日、於・順天堂大学本郷キャンパス/東京ガーデンパレス）を開催した。

－参加人数

総入場者数178人（うち有料入場者数168人（一般：131人，学生：37人））

－メインテーマ

「スポーツ庁長官にアイデアを披露しよう！」

－オープニングセレモニー

平田竹男 理事長 挨拶

尾山 基 会長 プレゼンテーション

－政策提言コンペティション

鈴木大地 スポーツ庁長官 スピーチ

二次審査通過者プレゼンテーション

参加者の投票

審査委員長 講評

スポーツ庁長官 講評

○スポーツ庁長官賞

- ・「SEHM格付けシステムのご提案（スポーツ×ヘルスによる価値の創造への仕掛け）」

寺谷俊康（原子力規制庁）

○日本スポーツ産業学会会長賞

- ・「地方国立大学の大学スポーツ活用と問題点」

萩原悟一（鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系）、隅野美砂輝、前田博子、竹下俊一

- ・「スポーツで稼ぎ、社会に貢献するースポーツ社団法人の創設ー」

張 寿山（明治大学）、河野 洋（順天堂大学）

- ・「アジアにおける人材育成を通じた日本人スポーツ産業の長期的成長戦略」
藤本淳也（大阪体育大学）、上田滋夢（追手門学院大学）、林 恒弘（大阪成蹊大学）

－TOKYO2020セミナー

座長 佐藤 潤氏（株式会社電通）

「オリンピック、ワールドカップの動画配信最新動向」

須賀久彌氏（株式会社プレゼントキャスト代表取締役社長）

－政策提言コンペティションポスター発表：24題

－一般研究発表：37題

- ・第4回冬季学術集会（平成29年2月11日、於・大阪成蹊大学）を開催した。

－参加人数：70人

－第1部：冬季学術集会シンポジウム2017

テーマ：「2020年を超え、スポーツ産業拡大を如何に実現していくか」

開会挨拶：平田竹男 会長

武蔵野 實 大阪成蹊大学学長

コーディネーター：

水野利昭 大阪成蹊大学教授

パネリスト：

間野義之 早稲田大学教授

金森喜久男 追手門学院大学

土方政雄 株式会社アシックス東京オリパラ担当

－第2部：リサーチ・カンファレンス2017（公益財団法人笹川スポーツ財団共催）

発表数：21件

修論の部

最優秀賞「障害者スポーツを通じた国際協力：「アジアの障害者活動を支援する会」を事例として

遠藤華英（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士2年）

優秀賞「日本とニュージーランドにおける子どものスポーツ振興事業に関する国際比較研究」

佐々木里菜（神戸大学大学院人間発達環境学研究科修士2年）

卒論の部

最優秀賞「サッカー専用スタジアムのスタジアム雰囲気に関する研究：スタジアム雰囲気尺度を用いた観戦者調査の分析から」

齊藤圭祐（大阪体育大学体育学部4年）

優秀賞「CSV戦略からみるカンボジアンタイガーFCの成功要因」

杉本将樹（同志社大学スポーツ健康科学部4年）

「女性プロサッカーファンのファッション意識に関する研究：セレ女に注目して」

原田愛里紗（大阪体育大学体育学部4年）

4. セミナー等事業の推進

(1)企画委員会事業

- ・スポーツ産業学セミナーを5回開催した（第32回～第36回）。

－第32回「巧みな経営手腕で世界中のサッカー協会を変える！：世界で10名、日本人唯一の「FIFAコンサルタント」のキャリアと仕事とは」

講師：杉原海太氏（FIFAコンサルタント）

開催日：平成28年5月10日

場所：早稲田大学早稲田キャンパス

3号館

参加人数：42人（うち正会員5人、一般非会員23人、学生14人）

－第33回「スポーツを支える理学療法士とインソール」

講師：唐澤幹男氏（理学療法士、トータ

ルボディメイクつくば代表)

開催日：平成28年6月15日

場所：早稲田大学早稲田キャンパス
3号館

参加人数：131人（正会員3人，賛助会員1人，一般非会員6人，学生2人，スポーツ庁1人）

－第34回「ブラインドサッカーの世界を変革する：障がい者スポーツの新たな挑戦」

講師：松崎英吾氏（特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会事務局長）

開催日：平成28年7月4日

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎
参加人数：47人（うち正会員13人，一般非会員18人，学生16人）

－第35回「サッカー専門の旅行会社はやっていけるのか？スポーツ・ツーリズムを考える」

講師：徳田 仁氏（株式会社セリエ代表取締役）

開催日：平成28年11月29日

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎
参加人数：8人（うち正会員2人，賛助会員1人，一般非会員2人，学生4人）

－第36回「『DOスポーツイベント』は地域に何をもたらすのか：スポーツエントリーにみる『DOスポーツ愛好者』の最新参加同校データ分析から見てきたこと」

講師：岩佐彰彦氏（株式会社アブロード代表取締役）

河野通裕氏（株式会社アブロードコンテンツ事業部「スポエンマーケティングサービス」担当）

開催日：平成29年2月13日

場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス

参加人数：19人（うち正会員10人，一般非会員7人，学生2人）

(2)専門分科会事業

・スポーツ法学専門分科会，スポーツ産業史専門分科会の2分科会に補助した。

(3)その他事業

なし

5. 学会賞について

・第26回総会にて学会賞1編の授与式を行った。

－学会賞（副賞10万円）

「一般成人におけるタイプ別スポーツ参加と社会経済的特徴の関係」

東原文郎（札幌大学），石澤伸弘（北海道教育大学），山本理人（北海道教育大学），間野義之（早稲田大学），中村好男共著（『スポーツ産業学研究』第25巻第2号掲載）

・第27回総会で授与が予定されている学会賞の候補論文を選考した。

6. その他

・『Sports Business & Management Review』創刊準備号を平成28年9月30日に，創刊号を平成29年1月1日に発行した。

・日経EXPO2017（平成29年3月8日～10日：東京ビッグサイト）に出展した。

出展ブース来訪者400人超，名刺交換法人15社，学会入会者13人

・学会のあり方を検討した。

(資料－２)

(1)平成28年度一般会計収支決算報告書

(平成29年３月31日現在)

(収入の部)

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
1.	入会金収入	80,000	150,000	70,000
a.	入会金収入	80,000	150,000	70,000
2.	会費収入	6,300,000	6,594,000	294,000
a.	会員会費収入	2,800,000	2,994,000	194,000
b.	賛助会員会費収入	3,500,000	3,600,000	100,000
3.	寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
a.	寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
4.	販売品収入	1,500,000	1,905,784	405,784
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	1,400,000	1,748,284	348,284
b.	図書等販売収入	100,000	157,500	57,500
5.	事業収入	350,000	232,000	△118,000
a.	事業収入	350,000	232,000	△118,000
6.	雑収入	4,000	927	△3,073
a.	預金利息	1,000	135	△865
b.	雑収入	3,000	792	△2,208
収 入 合 計		8,234,000	8,932,711	698,711

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
1. 学会組織の整備拡充費		650,000	540,650	△109,350
a.	理事会会議費	100,000	145,536	45,536
b.	運営委員会会議費	150,000	6,530	△143,470
c.	各小委員会会議費	0	0	0
d.	ホームページ管理費	400,000	388,584	△11,416
2. 出版事業費		3,400,000	2,693,857	△706,143
a.	学会誌第26巻2号, 第27巻1号	3,000,000	2,281,500	△718,500
b.	編集費	300,000	246,578	△53,422
c.	発送費	100,000	165,779	65,779
3. 学会大会開催費		600,000	600,000	0
a.	学会大会開催費交付	150,000	150,000	0
b.	冬季学術集会開催費交付	450,000	450,000	0
4. 事業費		400,000	244,503	△155,497
a.	企画委員会事業費	300,000	204,503	△95,497
b.	専門分科会事業費	50,000	40,000	△10,000
c.	その他事業費	50,000	0	△50,000
5. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
6. 表彰事業費		150,000	100,000	△50,000
a.	学会賞表彰事業費	150,000	100,000	△50,000
7. 事務局費 (管理費)		2,470,000	2,726,039	256,039
a.	交通費	250,000	349,076	99,076
b.	消耗品費	200,000	285,320	85,320
c.	通信費	200,000	336,435	136,435
d.	会議費	20,000	0	△20,000
e.	人件費	1,800,000	1,724,000	△76,000
f.	雑費	0	31,208	31,208
8. 予備費		550,000	1,439,924	889,924
a.	予備費	50,000	1,439,924	1,389,924
b.	特別プロジェクト研究費	500,000	0	△500,000
支 出 合 計		8,220,000	8,344,973	124,973
収 支 差 額		14,000	587,738	573,738
前 期 繰 越 金		12,084,275	13,237,371	1,153,096
次 期 繰 越 金		12,098,275	13,825,109	1,726,834

(2)平成28年度大会特別会計収支決算報告書

(平成29年 3月31日現在)

(収入の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
1.	本会計交付金	600,000	600,000	0
a.	学会大会開催費	150,000	150,000	0
b.	国際交流費	0	0	0
c.	冬季学術集会開催費	450,000	450,000	0
2.	大会開催収入	2,280,000	1,686,000	△594,000
a.	個人参加費	1,260,000	1,113,000	△147,000
b.	懇親会費	420,000	273,000	△147,000
c.	協賛金	600,000	300,000	△300,000
d.	その他	0	0	0
3.	冬季学術集会収入	130,000	81,000	△49,000
a.	参加費	0	0	0
b.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	81,000	△49,000
4.	その他	6,300	2,053	△4,247
a.	図書等販売収入	6,000	2,000	△4,000
b.	預金利息	300	53	△247
c.	その他	0	0	0
収 入 合 計		3,016,300	2,369,053	△647,247

(支出の部)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
1.	大会開催費	2,430,000	1,504,404	△925,596
a.	会場費	276,390	287,826	11,436
b.	懇親会費	564,500	551,243	△13,257
c.	大会号印刷費	250,000	191,160	△58,840
d.	講師関係費	150,000	33,411	△116,589
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員関係費	0	0	0
g.	事務局経費	600,000	440,764	△159,236
h.	予備費	589,110	0	△589,110
2.	冬季学術集会開催費	580,000	235,229	△344,771
a.	会場費	200,000	0	△200,000
b.	昼食会費	50,000	0	△50,000
c.	要旨集印刷費	100,000	49,140	△50,860
d.	事務局経費	100,000	113,685	13,685
e.	事業費	130,000	72,404	△57,596
3.	大会委員関係費	35,000	0	△35,000
a.	交通費	35,000	0	△35,000
b.	会議費	0	0	0
4.	印刷費	0	0	0
a.	報告書印刷費	0	0	0
b.	大会案内リーフレット	0	0	0
5.	事務局経費	415,000	349,120	△65,880
a.	事務局人件費	400,000	348,040	△51,960
b.	アルバイト代	0	0	0
c.	消耗品費	5,000	0	△5,000
d.	通信運搬費	5,000	0	△5,000
e.	雑費	5,000	1,080	△3,920
6.	予備費	0	0	0
支 出 合 計		3,460,000	2,088,753	△1,371,247
収 支 差 額		△443,700	280,300	724,000
前 期 繰 越 金		6,485,417	6,515,175	29,758
次 期 繰 越 金		6,041,717	6,795,475	753,758

(資料－3)

平成29年度事業計画

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1)会議の開催

- ・総会（第27回）
- ・理事会（第56回・第57回）
- ・運営委員会（2～3回の予定）

(2)事務局機能の整備・充実

- ・事務局の整備・強化
- ・ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）の活用・充実
- ・広報活動の充実

(3)会員の維持・拡充

〔参考〕正会員456人，学生会員67人，賛助会員20団体（平成29年3月末現在）

2. 出版事業

(1)学会誌

- ・学会誌『スポーツ産業学研究』の発行（第27巻第2号～第4号，第28巻第1号）
- ・学会誌『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第27巻第2号～第4号，第28巻第1号）

(2)ニュースレター

- ・『学会ニュース』の発行（No.101～No.104，ウェブ

ブサイト掲載及び学会誌との合本）

(3)情報誌

- ・Sports Business & Management Reviewの発行（No.2～No.5）

3. 学会大会の開催

(1)学会大会の開催

- ・第26回学会大会（平成29年7月15日～16日
於・立教大学 池袋キャンパス）

(2)冬季学術集会の開催

- ・第5回冬季学術集会（平成30年2月18日）

4. セミナー等事業の推進

(1)企画委員会事業

- ・スポーツ産業学セミナー（2～3回の予定）

(2)専門分科会事業

(3)カンファレンス事業

(4)その他事業

5. 表彰事業

- ・学会賞の表彰
- ・学会賞候補論文の選考

6. その他

- ・産学連携事業の推進
- ・他団体主催イベントへの後援・協力

(資料－４)

平成29年度収支予算書

(平成29年４月１日～平成30年３月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	入会金収入	90,000	80,000	10,000
a.	入会金収入	90,000	80,000	10,000
2.	会費収入	6,800,000	6,300,000	500,000
a.	正会員会費収入	2,730,000	2,730,000	0
b.	学生会員会費収入	70,000	70,000	0
c.	賛助会員会費収入	4,000,000	3,500,000	500,000
3.	寄付金・補助金収入	0	0	0
a.	寄付金・補助金収入	0	0	0
4.	販売品収入	2,502,000	1,506,000	996,000
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	2,400,000	1,400,000	1,000,000
b.	図書等販売収入	102,000	106,000	△4,000
5.	学会大会収入	1,580,000	2,280,000	△700,000
a.	参加費収入	905,000	1,260,000	△355,000
b.	協賛金収入	300,000	600,000	△300,000
c.	懇親会費収入	225,000	420,000	△195,000
d.	その他	150,000	0	150,000
6.	冬季学術集会収入	130,000	130,000	0
a.	参加費	0	0	0
b.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	130,000	0
7.	事業収入	350,000	350,000	0
a.	事業収入	350,000	350,000	0
8.	雑収入	4,100	4,300	△200
a.	預金利息	1,100	1,300	△200
b.	雑収入	3,000	3,000	0
収 入 合 計		11,456,100	10,650,300	805,800

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1. 学会組織の整備拡充費		935,000	685,000	250,000
a.	理事会会議費	100,000	100,000	0
b.	運営委員会会議費	135,000	185,000	△50,000
c.	ウェブサイト管理費	400,000	0	400,000
d.	広報活動費	300,000	400,000	△100,000
2. 出版事業費		5,420,000	3,400,000	2,020,000
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,000,000	200,000
b.	学会誌編集費	400,000	300,000	100,000
c.	情報誌製作費	1,600,000	0	1,600,000
d.	発送費	220,000	100,000	120,000
3. 大会開催費		1,580,000	2,430,000	△850,000
a.	会場費	0	276,390	△276,390
b.	懇親会費	500,000	564,500	△64,500
c.	印刷費	250,000	250,000	0
d.	講師関係費	200,000	150,000	50,000
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	600,000	600,000	0
h.	予備費	30,000	589,110	△559,110
4. 冬季学術集会開催費		580,000	580,000	0
a.	会場費	200,000	200,000	0
b.	昼食会費	50,000	50,000	0
c.	印刷費	100,000	100,000	0
d.	事務局経費	100,000	100,000	0
e.	事業費	130,000	130,000	0
5. 事業費		450,000	400,000	50,000
a.	企画委員会事業費	300,000	300,000	0
b.	専門分科会事業費	50,000	50,000	0
c.	カンファレンス事業費	50,000	0	50,000
d.	その他事業費	50,000	50,000	0
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		200,000	150,000	50,000
a.	学会賞表彰事業費	200,000	150,000	50,000
8. 事務局費（管理費）		3,080,000	2,470,000	610,000
a.	交通費	350,000	250,000	100,000
b.	消耗品費	200,000	200,000	0
c.	通信費	300,000	200,000	100,000
d.	会議費	0	20,000	△20,000
e.	人件費	2,200,000	1,800,000	400,000
f.	雑費	30,000	0	30,000
9. 予備費		50,000	550,000	△500,000
a.	予備費	50,000	50,000	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	500,000	△500,000
支 出 合 計		12,295,000	10,665,000	1,630,000
収 支 差 額		△838,900	△14,700	△824,200
前 期 繰 越 金		20,340,284	18,569,692	1,770,592
次 期 繰 越 金		19,501,384	18,554,992	946,392

(資料－５)

会則の改定について

日本スポーツ産業学会会則の一部改定を以下の通り提案いたします。

改定後	改定前
(種別) 第5条 本会の会員の種別は、次の通りとする。 (1)正会員 スポーツ産業に関心を有する者で、 正会員より推薦された個人 (2)法人会員 スポーツ産業に関心を有する者 で、正会員より推薦された法人・団体 (3)名誉会長・名誉会員（顧問を含む） 本会に貢 献のあった会長又は会員で、理事会が推薦し、 会長が委託した個人 (4)賛助会員 本会の目的に賛同し、その事業に 協力しようとする団体及び個人で理事会によ り承認されたもの (5)学生会員 本会の目的に賛同する大学院、学 部、専門学校の在学者 (入会) 第6条 本会の会員になろうとするものは、次の 手続きをとるものとする。ただし、<u>名誉会長・ 名誉会員（顧問を含む）は、入会の手続きを要 せず、本人の承諾をもって会員となるものと する。</u> (1)正会員は、入会金3,000円および所定の金額（年 度会費）を添えて所定の入会申込書を提出す る。 (2)法人会員・賛助会員は、所定の金額（年度会費） を添えて所定の入会申込書を提出する。 (3)学生会員は、所定の金額（年度会費）を添え て所定の入会申込書を提出する。入会金は免 除とする。 (会費) 第7条 会員は、次の会費を納入しなければなら ない。ただし、<u>名誉会長・名誉会員（顧問を 含む）は、会費の納入を要しないものとする。</u> (1)正会員 年額7,000円 (2)法人会員 年額5万円 (3)賛助会員 年額一口（10万円）以上 (4)学生会員 年額2,000円 付則 9. この会則は、平成29年7月15日より施行する。	(種別) 第5条 本会の会員の種別は、次の通りとする。 <u>2 正会員は、スポーツ産業に関心を有する者 で、正会員より推薦された個人とする。</u> <u>3 名誉会長・名誉会員（顧問を含む）は、本 会に貢献のあった会長又は会員で、理事会が 推薦し、会長が委託した個人とする。</u> <u>4 賛助会員は、本会の目的に賛同し、その事 業に協力しようとする団体及び個人で理事会 により承認されたものとする。</u> <u>5 学生会員は、本会の目的に賛同する大学院、 学部、専門学校の在学者とする。</u> (入会) 第6条 本会の会員になろうとするもの（<u>名誉会 員を除く</u>）は、次の手続きをとるものとする。 (1)正会員は、入会金3,000円を添えて所定の入会 申込書を提出する。 (2)賛助会員は、所定の金額（年度会費）を添え て入会申込書を提出する。 (3)学生会員は、<u>学生入会申込書を提出する。入 会金は免除とする。</u> (会費) 第7条 会員は、次の会費を納入しなければなら ない。 (1)正会員は、<u>年額7,000円とする。</u> (2)名誉会員は、<u>徴収しない。</u> (3)賛助会員は、<u>年額一口（10万円）以上とする。</u> (4)学生会員は、<u>年額2,000円とする。</u>

(資料－6)

学会ロゴについて

本学会のロゴ（呼称：ジェシイ）を作成し、本年7月より使用を開始した。



(資料－7)

「スポーツビジネスジャパン2017」開催について

スポーツ産業を活性化させる，わが国初のビジネス展示会&コンファレンス！

わが国のスポーツ産業の課題に切り込むとともに，スポーツコンテンツホルダーの経営力強化へ向けたオープンイノベーションの場を創出します。

併催展「スタジアム&アリーナ2017」にも入場可能です。

■開催概要

会期：2017年9月12日(火)～14日(木)

会場：幕張メッセ

主催：日本スポーツ産業学会

共催：株式会社コングレ / 株式会社スペースメディアジャパン

オープンイノベーションテーマ（仮案）：

1. 「スポーツマネジメント系大学院の意義と役割」
2. 「バスケットボールの産業化とビジネス」
3. 「競技人口減少下におけるゴルフ産業のサステナビリティを探る」
4. 「卓球－競技力強化を追い風にした新リーグ構想」
5. 「スポンサーシップ効果を最大化するアクティベーション」
6. 「地域を核としたクラブ・チーム経営」

■出展対象

- ・スポーツビジネス&マネジメント系カリキュラムを持つ大学，大学院
- ・スポーツビジネス&マネジメント系アカデミー・講座等
- ・スポーツ用品・設備等企業
- ・スポーツマネジメントに関わる企業・団体

■想定来場者

- ・スポーツマネジメント系大学・大学院学生
- ・スポーツ競技団体関係者
- ・スポーツリーグ・クラブ関係者
- ・国際スポーツ大会主催者・組織委員会
- ・スポーツビジネス・マネジメント系企業関係者

■連絡先

「スポーツビジネスジャパン2017」事務局（株式会社コングレ内）

tel：03-5216-5307，fax：03-5216-5552

e-mail：sbjapan@congre.co.jp

企画委員会セミナー開催報告

1. 第40回日本スポーツ産業学会セミナー

■日 時：2017年9月12日(火)19時00分～20時30分

■場 所：大妻女子大学 千代田キャンパス
H棟 215教室

■テーマ：「国内スポーツ総生産（GDSP）を考える」

■講 師：酒井 均氏

（社会工学研究所 代表理事）

■参加費：一般：3,000円，学会員：2,000円，学生：1,000円

〈参加人数〉34人[うち学会員12人，非学会員20人，学生2人]

事務局より

〈平成29年度年会費納入のお願い〉

現在，平成29年度年会費（正会員・7,000円，学生会員2,000円）の納入受付をしております。どうぞ宜しくお願い致します。

〔郵便振替〕口座番号 00160-1-600893
加入者名 日本スポーツ産業学会

〔銀行口座〕①三菱東京UFJ銀行 東京公務部 普通口座 3572697
②三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通口座 1198315

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は，現在，個人会員が約550名，賛助会員及び法人会員が24団体です。本学会は，設立理念にもありますように，産業界，学界，官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し，ともに研究を進める仲間を募っています。下記事務局にご紹介頂ければ幸いです。

日本スポーツ産業学会事務局

〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
TEL/FAX：042-461-1241
E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp
http：//www.spo-sun.gr.jp/

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究）研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メール添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo103」

発行日：2017年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 北村 薫

編集者：中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜，岡 浩一朗
梶川 裕矢，越川 茂樹，児玉ゆう子，藤田 康範
藤本 淳也，丸山 剛生，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<http://www.spo-sun.gr.jp/>